

## 2021年度（令和3年度）第2回常任幹事会

日時： 2021年4月9日(金) 10:00～12:00

会場： Cisco Webex によるオンライン会議

出席者（敬称略）： 石切山 一彦（(株)東レリサーチセンター）、石濱 泰（京都大学薬学研究科）、岩月 聡史（甲南大学理工学部）、大塚 利行（神戸大学理学研究科）、大城 敬人（大阪大学産業科学研究所）、糟野 潤（龍谷大学先端理工学部）、北隅 優希（京都大学農学研究科）、北山 紗織（紀本電子工業(株)）、久保 拓也（京都大学工学研究科）、末吉 健志（大阪府立大学工学研究科）、鈴木 雅登（兵庫県立大学物質理学研究科）、諏訪 雅頼（大阪大学理学研究科）、田中 陽（理化学研究所）、中田 靖（大阪府立大学研究推進機構）、向井 浩（京都教育大学理科領域専攻）、村松 康司（兵庫県立大学工学研究科）、森田 成昭（大阪電気通信大学工学部）、安川 智之（兵庫県立大学物質理学研究科）、山口 英一（(株)日立ハイテクサイエンス）、山本 佐知雄（近畿大学薬学部） 計 20 名

### 1. 第1回幹事会の議事内容確認、新役員・役員異動の確認

資料 No. 0 に基づき、末吉庶務幹事より 2021 年度第 1 回幹事会の議事内容の確認が求められた。また、新役員および異動となった役員の確認が求められた。異議や修正はなかった。村松支部長より、新幹事には幹事会で挨拶してもらう旨が伝えられた。

### 2. 前回議事録の確認

資料 No. 1 に基づき、末吉庶務幹事より 2021 年度第 1 回常任幹事会の確認が求められた。異議や修正はなかったが、修正等あれば後にメール等で連絡して欲しい旨が伝えられた。

### 3. 本部関係報告

前回の常任幹事会から情報の更新がないため、省略された。

### 4. 2021 年度の事業計画

#### (1) 常任幹事会/幹事会スケジュール

資料 No. 9 に基づき、末吉庶務幹事より 2021 年度の支部事業のスケジュールの確認が求められた。村松支部長より、ぶんせき講習会の発展編はオンライン開催と表記して良いのではと指摘があった。

#### (2) ぶんせき講習会

資料 No. 10 に基づき、森田委員長より 2021 年度ぶんせき講習会の確認が求められた。また協賛を募集していることが説明された。

### (3) 支部講演会 WG

資料 No. 11 に基づき、責任者の向井委員により 2020 年 12 月 4 日の幹事会以降の活動報告がなされた。また、今回の幹事会后に萩森先生による講演会が予定されていること、7 月 16 日の横井先生の講演は対面での実施をめざして検討していること、2021 年 12 月と 2022 年 4 月の講演会は現在調整中であることが説明された。候補者として 5 名が挙がっているが、年齢についての正確な情報がないかと、会場に求められた。また、対面実施の場合は科学技術センターの 700 号室で良いかという意見に対して、末吉庶務幹事より昨今の状況を鑑みオンラインにしてはどうかと提案が、村松支部長よりハイブリット開催はどうかという提案がなされた。向井委員より、7 月はハイブリット開催を前提とした対面開催を目指す、状況が悪化する場合にはオンラインに変更するという方針を進める。横井先生には一度対面を理由に延期させていただいておりオンライン講演に対応いただけるかの確認も必要であることから、オンラインに変更する場合は横井先生の承諾を得てから進めるという方針が示された。また、会告に、会場名を明記するかどうかについて意見が求められた。村松支部長によりオンラインへの変更の可能性ありという一文を付けたらどうかと提案がなされた。

### (4) 提案公募型セミナーWG

資料 No. 12 に基づき、責任者の北山委員よりオンライン開催に関する案内がホームページ上で更新された旨が報告された。

### (5) ホームページ&ニュース WG

資料 No. 13 に基づき、責任者の田中委員によって、ぶんきんニュース 51 号、52 号の内容案が紹介された。末吉庶務幹事より、支部講演会の講演者による寄稿についての提案がなされた。また、村松支部長に依頼原稿であることを付記することが提案された。

### (6) 若手セミナーWG

資料 No. 14 の通り、前回常任幹事会より特に変更点が無い旨、末吉庶務幹事によって説明された。

## 5. 2021 年度近畿支部予算立案について

資料 No. 15 に基づき、糟野会計幹事によって予算案の説明がなされた。近分懇の収入減の原因について法人会員の減少と個人会員の会費徴収ができていない点の 2 点から説明がなされた。夏期セミナーの減少は宿泊を行わない形式で実施するためと説明された。また、予算における会議費には従来の懇親会費が含まれることが説明された。

## 6. 2021 年度支部役員選考委員候補者承認について

資料 No. 16 に基づき、末吉庶務幹事によって、メール会議にて推薦が決定された新任の委員それぞれより内諾済みであることが説明された。

#### 7. 日本分析化学会第 70 年会

資料 No. 17 に基づき、大塚実行委員長によって年会準備の進捗状況が説明された。日程が確定したこと、今回は一般講演のみで実施し、産業界シンポジウムは中止とすること、オンライン交流会を最終日に実施すること、実行委員を再分担したこと、国際文献社にオンライン開催を委託していることが説明された。村松支部長よりオンライン交流会についての補足説明が求められた。

#### 8. 近畿分析技術研究懇話会

石切山会長より近分懇の会費徴収や入会に関するアイデアが募集された、ぶんきんニュースへの掲載を希望していることが説明された。末吉庶務幹事より、従来の会費集金のやりかたが説明された。村松支部長よりぶんきんニュースよりも、メーリングリストを利用してはどうかと、提案がなされた。また、大城幹事より、手数料や人件費を割いても会費徴収をするメリットがあるのかと意見が上げられた。

#### 9. その他

##### (1) Cisco Webex 近畿支部アカウントの利用法について

末吉庶務幹事より、近畿支部で保有している Cisco Webex アカウントの利用についての案内がなされた。

##### (2) 有功賞候補者の推薦について

資料 No. 18 に基づいて、末吉庶務幹事より有功賞の推薦が 1 件あったこと、現状では被推薦者の情報が少ないために、支部長推薦に回して良いのか判断がつかないことが説明された。村松支部長より推薦者が把握しているなら問題ないのではと意見が上げられた。また、石濱本部副会長より、審査基準等の事務的な判断は本部がするので、支部長推薦に回して問題ないとの意見が上げられた。

##### (3) 共催、協賛など

資料 No. 19 に基づいて、末吉庶務幹事より第 41 回石橋雅義先生記念講演会の協賛依頼が来ている旨が説明された。協賛について異議はなかった。

以上

